

「ワークショップ全体の振り返りと成果」

平成17年9月27日（火）青柳ふれあいセンターにおいて、前組、二ノ宮、新里の3区から13名住民の皆さまに集まっていただき、第4回ワークショップを開催しました。

今回は最終回ということで、今までのワークショップの内容や結果を振り返りながら、羽根倉池の整備完成後のイメージ図を見ていただき、その後で感想や意見の交換を行いました。

要約

- ・ 第1回～第3回ワークショップの内容をスクリーンを見ながら振り返りました。
- ・ 羽根倉池の完成イメージ図を見ていただきました。
- ・ ワークショップ全体を振り返っての感想や意見を話し合っていました。
- ・ 最後に促進協コミュニティ支援部会長と国営神流川沿岸農業水利事業所から閉会の挨拶がありました。



今日のワークショップの内容

- I. ワークショップを振り返っていきます。
- II. 羽根倉池の完成イメージ図を見てみます。
- III. ワークショップを振り返っての感想・意見交換を行います。

今までのワークショップを振り返ってみましょう 1

ワークショップの全スケジュール

- 第1回 地域と羽根倉池の現状と将来像
- 第2回 羽根倉池の整備内容と施設
- 第3回 各班の意見修正と合意形成
- 第4回 完成予想図と今後



今までのワークショップを振り返ってみましょう 2

9月27日 全体

第1回ワークショップ



第1回ワークショップの内容

- ▶ 羽根倉池周辺の現状の確認しました。
- ▶ 羽根倉池の整備のテーマを考えていただきました。

羽根倉池に関する意見

- ・池の機能（漏水防止、堤防の改修）
- ・環境（生物が生息する環境、水質）
- ・景観（植栽、フェンス、護岸材質）
- ・公園（釣り、公園利用、遊歩道）
- ・交通（道路拡幅や駐車場）
- ・河川（金鎖川の整備）
- ・防災（防災計画）
- ・その他



周辺地域に関すること

- ・環境（金鎖川への用水補給、産廃処理、池と周辺の水辺の整備）
- ・農業（ポンプの増設、排水路処理）
- ・遊び（周辺も含んだ公園整備）
- ・交通（道路補修、管路の上部利用、白岩神社までの歩道整備）
- ・その他

羽根倉池に関すること

大項目	小項目	国営事業での可能性
機能	池の機能整備	整備する
環境	生物	可能性がある
	環境	可能性がある
	排水	整備する
景観	植栽(樹木)	堤体以外では可能性がある
	植栽(草花)	可能性がある
	フェンス	可能性がある
	その他の景観	可能性がある
遊び	釣場	可能性がある
	公園	可能性がある
	遊歩道	可能性がある
交通	道路	不可能
	駐車場	可能性がある
河川	河川	不可能
防災	防災	—
その他	その他	困難

第2回ワークショップ



第2回ワークショップの内容

- ▶ 国営事業で可能性のあるものを対象に必要なものを選んで頂きました。
- ▶ 選んだ施設・整備の配置や構造をイメージ図として描いて頂きました。
- ▶ 整備する施設を具体的に考えて頂きました。



第3回ワークショップ



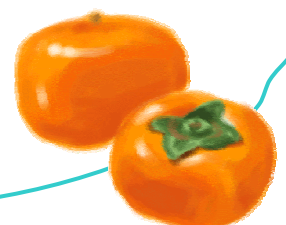
第3回ワークショップの内容

- ▶ 皆さんが考えたアイデアに対して国営事業が行った技術的検討の内容を確認しました。
- ▶ 技術検討の内容と維持管理を踏まえ、必要な施設や整備を選びました。
- ▶ 班毎に意見を発表し、違ったものは再検討して整備計画の最終決定を行いました。

大項目	小項目	内 容	技術検討の結果			備考
			整備方針提示	代替案提示	整備できない	
機能	池の機能整備	雑草の処理	○			
環境	生物	生物はいてほしい	○			
	排水	金鎖川の水や排水が入らないようにする			○	
	植栽	高木、低木、ヒガンバナがほしい	○			
景観	安全柵	池にフェンス	○			
	その他の景観	欄干に雑草が生えないようにシズをなくしてほしい 庭園、花壇のみ			○	
遊び	釣場	釣り場がほしい	○			
	公園	休憩所、西側、トイレ ベンチがほしい 野鳥の観察所	○			
	遊歩道	土手の断面を階段状にする 舗装	○			
交通	道路	側道道路 車が入れないように ガードレールの設置		○		
	駐車場	駐車場の整備 車が生えないように。砂利を敷く 穴を工事の足で埋める	○			
防災	防災	防災計画をどうするかはっきりしてほしい			○	
その他	その他	時計			○	

大項目	小項目	内容	選定	理由	その理由を代表	決意
機能	池の機能整備	雑草の処理	○	5/24 池の水質改善のため	5/24 池の水質改善のため	
	生物	生物はいてほしい	○	5/24 池の水質改善のため	5/24 池の水質改善のため	
環境	排水	金鎖川の水や排水が入らないようにする	○	5/24 池の水質改善のため	5/24 池の水質改善のため	
	植栽	高木、低木、ヒガンバナがほしい	○	5/24 池の水質改善のため	5/24 池の水質改善のため	
景観	安全柵	池にフェンス	○	5/24 池の水質改善のため	5/24 池の水質改善のため	
	その他の景観	欄干に雑草が生えないようにシズをなくしてほしい 庭園、花壇のみ	○	5/24 池の水質改善のため	5/24 池の水質改善のため	
遊び	釣場	釣り場がほしい	○	5/24 池の水質改善のため	5/24 池の水質改善のため	
	公園	休憩所、西側、トイレ ベンチがほしい 野鳥の観察所	○	5/24 池の水質改善のため	5/24 池の水質改善のため	
	遊歩道	土手の断面を階段状にする 舗装	○	5/24 池の水質改善のため	5/24 池の水質改善のため	
交通	道路	側道道路 車が入れないように ガードレールの設置	○	5/24 池の水質改善のため	5/24 池の水質改善のため	
	駐車場	駐車場の整備 車が生えないように。砂利を敷く 穴を工事の足で埋める	○	5/24 池の水質改善のため	5/24 池の水質改善のため	
防災	防災	防災計画をどうするかはっきりしてほしい	○	5/24 池の水質改善のため	5/24 池の水質改善のため	
その他	その他	時計	○	5/24 池の水質改善のため	5/24 池の水質改善のため	

大項目	小項目	内容	選定	理由	決意
遊び	公園	休憩所、西側、トイレ ベンチがほしい 野鳥の観察所	○	5/24 池の水質改善のため	
	遊歩道	土手の断面を階段状にする 舗装	○	5/24 池の水質改善のため	
交通	道路	側道道路 車が入れないように ガードレールの設置	○	5/24 池の水質改善のため	
	駐車場	駐車場の整備 車が生えないように。砂利を敷く 穴を工事の足で埋める	○	5/24 池の水質改善のため	



ワークショップの成果と羽根倉池の完成イメージ図を見て確認をしましょう

1. ワークショップで決定したこと

9月27日 全体

(1) 池の機能整備

- ・ 遮水シートを北側堤防の全長に渡って整備する。
- ・ 水面より上の堤防法面にコンクリートを打ち、雑草の繁茂を防ぐ。

(2) 遊歩道の整備

- ・ 北側堤防に管理用歩道を新設する。
- ・ 管理用歩道の幅は 1.5m（歩行幅）を確保する。
- ・ 北側と南側の管理用歩道は土系の舗装にする。



(3) 景観整備

- ・ 南側では自然石を詰めた階段状の護岸にする。
- ・ 安全柵は、北側と西側には 110cm、南側には 80cm の防腐処理した木柵を設置する。
- ・ 南側の管理用歩道沿いに植栽ができるようにする。

(4) その他の整備

- ・ 北側の新旧町道の間にある町有地は旧道の高さに合わせて盛土し、砂利を敷き、駐車できるようにする。
- ・ 安全柵の下は帯状にコンクリートを打ち、雑草が生えないようにする。

2. 羽根倉池のイメージ図



ワークショップを振り返って 感想や意見を話し合いました

9月27日 全体

ワークショップの振り返りや羽根倉池の完成イメージ図を見ていただいた後、ワークショップに対する感想や羽根倉池整備に対する意見交換を行いました。その一部を紹介します。

参加者

- ・ある程度は我々の意見どおりになった。国が「事業で整備できるのはここまで」というのをはっきり示したのが今回のワークショップだったと思う。
- ・図面はきれいだが現実とは違う。崩れない堤防を作らなければならない。私の代では崩れないとは思う。しかし子の代ではどうか。
- ・池の役員は台風・大雨のときは必ず池を見に行っている。近年、現実には自分が経験したことのないような大雨が降ってきている。格好より安全を第一に考え、丈夫なものを作ってほしい。
- ・下流の住民は水が足りないときには文句を言いにくるが、管理への意識が薄い。羽根倉池周辺の地域の者だけでなく、下流や他の地区の人にも説明してほしい。

参加者

- ・金鑽川の護岸（法面）は垂直にしたほうが雑草も生えないし、草刈などの維持管理も楽なのではないかと思う。

国営事業所担当者

- ・第2回ワークショップで説明していますが、今回の整備対象は羽根倉池の用地に限定しています。金鑽川の護岸は町有地ですので整備対象外になります。ご理解ください。

参加者

- ・池の用地しか整備できないのなら、シノを刈り取ってもまた生えてくるので無意味と思うが。

参加者

- ・シノは除去すると堤防が弱くなる。シノが堤防を守っているので抜根しないほうがよい。

参加者

- ・今までのワークショップは参加者が納得しながらやってきたので良いのですが、他はどうなのでしょう。心配なのは、池の整備をした後に周辺地区をどのように整備していくのが問題だと思います。「整備しました」だけではダメで、羽根倉池の整備が周辺全体を整備するきっかけとして活用できれば良いと考えています。

参加者

- ・これだけの整備を誰が維持管理するのか。明快な答えがほしい。

町役場担当者

- ・ハード事業を20年近くやってきたが、ワークショップは貴重な経験となった。池は改修しなければならないが、財政難でもあり、国営事業の中で最大限の事業ができるようにやってきた。町としても支援できるものは側面からバックアップしたい。継続した維持管理が必要。維持管理については、地元と協議しながらよりよい管理をしていきたい。国、県、町、地元との連携を模索しているところです。

参加者

- ・前池の維持管理について参考までに説明します。維持管理費は800円/月です。大雨のときは池を点検する。町役場も協力してくれるので我々でもちょっと維持管理できている。神川町役場は良くやっているが、これから維持管理の範囲が広がったことを考えると、町におんぶにだっこでは困る。下流地区も含めた他の地区にも伝えてください。

国営事業所職員

- ・ワークショップの参加は初めてでした。ハード事業を30年やっていますが、完成後の姿を見る機会がなかなかとれなかった。今回の経験を契機に、事業完成地区についても見に行きたいと思っている。また、工事についてもしっかりやらなければならないことを痛感しました。

促進協議会コミュニティ支援部長

- ・6月から今まで、4回のワークショップへのご協力ありがとうございました。当初は参加者があるか心配でしたが、たくさんの意見が出て、今ひとつの形となって事業に反映されることになりました。爽りの多いワークショップでした。工事はこれから。これからが本番と思っています。

国営神流川沿岸農業水利事業所長

- ・これからはハードだけの時代ではありません。ワークショップをはじめ、ソフト整備の一環として地域の人に満足していただくことを優先し、地域全体に広げていく必要がある。このような機会をもっと増やして、下流地区の住民を含めた地域づくりを進めていきたい。

